

第3回山形県自転車ネットワーク計画策定検討会 議事要旨

日 時 令和2年11月12日(木) 14時00分～15時10分

場 所 山形県庁1001会議室

出席委員 神田委員(会長)、菅野委員、塚本委員、土屋委員、津藤委員、福田委員、山科委員

欠席委員 赤間委員、加藤委員、鈴木委員、田口委員

事務局長	<p>1. 開会</p> <p>2. 開会挨拶</p> <p>本日は、第3回目の「山形県自転車ネットワーク計画策定検討会」へ御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>この検討会は、これまでに計2回開催させていただきまして、委員の皆様からは、各専門分野の知見に基づき、貴重なご意見をいただいておりますことを、改めまして、感謝申し上げる次第であります。</p> <p>さて、本日は、前回の検討会で頂戴したご意見を踏まえ、これまでに議論してまいりました「広域的なサイクリングモデルルート」の設定について、また、そのルートにおける「自転車通行空間の整備方針」や「案内看板、路面標示などの案内施設の整備方針や管理方針」、そして「サイクリング環境の向上と情報発信による観光立県の推進方針」をとりまとめた『山形県自転車ネットワーク計画』の原案をお示しさせていただき、御協議いただくこととしております。</p> <p>委員の皆様には、この原案について忌憚のないご意見をいただければと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
神田委員	<p>3. 会長挨拶</p> <p>今回は第3回目の検討会となり、いよいよとりまとめとなります。過去2回の検討会において、各委員からは専門的な分野からのご意見を多数いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>これらを踏まえて今回、事務局にて、山形県自転車ネットワーク計画(原案)が作成されております。</p> <p>本日も各専門分野からのご意見をいただきまして、しっかりと原案を作っていくと考えております。</p> <p>自転車の利用推進は、コロナ禍においても非常に重要なものと考えております。健康志向の高まりや脱温暖化の機運の高まりの中で、自転車の利用者は増加傾向にあります。このコロナの中でも安全に移動することができる手段として、今後ますます自転車利用のニーズは高まって</p>

	<p>いくと思われま。</p> <p>今回のルートの設定や、移動する中での安全性の確保の観点を踏まえた整備方針、おもてなしの観点、これらを含めて、このネットワーク計画を策定していくことは、今後この山形県の自転車ツーリズムの促進を考えていくうえでも、非常に重要な計画になると考えております。本日はよろしくお願いたします。</p>
<p>事務局説明</p> <p>神田委員</p> <p>事務局</p>	<p>4. 議事</p> <p>(1) 山形県自転車ネットワーク計画（原案）について</p> <p>I 前回からの変更点について【資料1】</p> <p>ルート変更について、高盛土の区間で路肩に車を止められてしまうと、車を回避するためにどうしても車道に入らなければならない。設計速度が高い道路では、このような行為は非常に危険であると分かりましたので、ルート変更については了解した。</p> <p>そのうえで、振り替えた県道側の縦断勾配など特に問題はないか。</p> <p>山形市内の県道を通るルートに変更していますが、縦断勾配は緩い道路となっている。高盛土区間がある国道112号（山形中山道路区間）よりも走りやすいルートを設定している。</p>
<p>事務局説明</p> <p>神田委員</p> <p>事務局</p>	<p>II 山形県自転車ネットワーク計画（原案）について【資料2】 【資料3】</p> <p>ルートの番号について、K1とかC1などKやCを使う方針だと思うが、今後インバウンドの需要を考えていった場合に、現在のローマ字表記をした際の頭文字K（Kikan）、C（Chiiki）とすることについて、十分な理解が得られるかどうか。</p> <p>例えば、基幹ルートの基幹を英語で検索するとコア（CORE）と出るが、これだと地域ルート側の頭文字Cといっしょになってしまい気になる場所である。</p> <p>ルート番号については、前回の検討会でも意見を頂戴しているが、併せて英語表記についてもご意見をいただいているため、どのような表記がふさわしいか英語表記の部分も含めて改めて検討していきたい。</p> <p>表示の仕方については、ハイフン抜きとした形のほうがサイクリストにとって見やすいと思われるのでそのような表示としたい。</p> <p>また、親しんでもらうためのルートの愛称については、今回のネットワークの中からそれぞれの地域において自転車関係で活動している団体</p>

	<p>や観光の団体などからご意見を聞くなり、また公募していくなどが考えられるので、今後検討していきたい。</p>
神田委員	<p>ルート番号は、確定ではないということですね。</p>
事務局	<p>標記の仕方は、確定ではありません。自転車ネットワーク計画の策定までの段階においては、このような整理にさせていただき、案内看板を整備にする段階において標記の仕方を検討させていただきたい。</p>
福田委員	<p>概要版の2ページ目に輪行推奨区間とあり、輪行の説明書きがあるが、この区間のついては、JRの公共交通機関が使えるのか情報として重要と考える。長い区間でもあるので、もう少し説明を加えても良いのではないか。</p>
事務局	<p>同区間は、サイクルトレインの取組みまでには至っていない状況。意見を参考として、輪行区間についての説明を充実させたい。</p>
山科委員	<p>県版の広域自転車ネットワーク計画におけるターゲットとして、観光客と記載されているが、サイクリストの方は自分で自転車を持ち込んでくるかもしれないが、一般的な観光客の場合は、自転車を持ってこないで、広域なルートを走ってもらうには結構厳しいと思われる。</p> <p>広域なのであれば、E-Bikeが活用できるとか、出発地となる各ゲートウェイのところで、レンタサイクルが出来て、各目的地で乗り捨てができるとか、そのような取り組みは検討されているのか。</p>
事務局	<p>前回の検討会においてもレンタサイクルやタクシーに自転車を積みこめるサービスなどのご意見を頂戴しているところ、ご意見の内容は、調整しなければならないことが多いことから、このようなご意見をもとに次年度以降、検討していきたい。</p>
神田委員	<p>気軽に利用できるような視点からすれば、基幹ルートの全区間を走破するには、相当な事前準備が必要になるので、E-Bikeとか乗り捨てるサービスが利用できるという視点は重要、ぜひ検討してもらいたい。</p>
津藤委員	<p>県のネットワーク計画と市町村ネットワーク計画の説明で、県と市町村との役割分担が分かれて説明されてあるが、民間でお土産屋をしている自分の視点から見ると、日頃、お客さんをもてなすのは市町村であって、県と市町村の役割分担をくっきりと分けるのではなく、県の役割の中には、市町村のお世話をすることも含んでの表現となるような文言の修正や加筆が必要になるのではないか。</p> <p>もう一点は、会場内にある模型の案内看板の色について、もう少しは</p>

事務局	<p>っきりとした濃いブルーなのかなと思った。その色で決定なのか。</p> <p>県のネットワーク計画と市町村ネットワーク計画が分離されているようなイメージを受けるということですが、市町村の中にも観光地や、例えばB級グルメを楽しむなどを目的として県内外からいらっしゃる方もいます。県版の広域なネットワークと市町村のネットワークの両方が有機的に繋がりを持つことで、観光客の方々から楽しく走っていただきたいし、そのように情報発信をしていきたい。</p> <p>なお、現在の記載が分離して見えるということを確認したので、記載の仕方について工夫していきたい。</p> <p>また、案内看板の下地の色について参考にしているのは、「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会」の事例である一方、国が指定しているナショナルサイクルルートでも同様の青色を標準仕様としているようなので、そちらで使っている色を採用したいと考えている。現在、国土交通省に色の呼び番号等を確認しているところである。</p>
菅野委員	<p>案内表示の点で気になっていたところ、県外からの観光客にきてもらうことからこれが標準なのかと思ったが、先ほどの説明で理解した。</p> <p>今後、私ども公共交通機関の立場としては、この計画に基づいて、いかにして飛行機に自転車を載せられるかという輸送サービスについて検討していきたいと考えている。</p>
塚本委員	<p>前回において意見を行ったルート番号から分かりやすいように、ハイフンを取ることにについて意見したところ、反映されておりありがとうございました。今回まとまった原案については、特に意見はない。</p>
土屋委員	<p>観光サイドとしても、この度の基幹ルート、地域ルートを活かしながら観光需要を増やしていければと思う。</p> <p>原案で示されている位置図や路線一覧では、どこで曲がるかなど詳細にわからない。今回のルートひとつひとつの地図を作る予定はあるのか。</p>
事務局	<p>今回の計画では全域位置図と地域別位置図までと考えている。デジタルや紙媒体など様々な手法が考えられるが、今後、情報発信をしていくなかで、サイクリストへ観光情報なども含め、より詳細な情報を発信できるようにしていきたい。</p>
神田委員	<p>概要版の3ページの自転車通行空間の整備方針において、今回は暫定形態で行われるということですが、現状を考えるとすぐに自転車道を設置するのは難しいと思いますので、この流れになることは理解しているところです。</p> <p>暫定ということになっているので、今後、中長期的には展望があるの</p>

	<p>か、特に原案の中では読めるところがないので、何か検討していることはあるのか。</p> <p>もう一点は、ルート設定後の運用の中で、自動車運転者への働きかけも必要になってくるのではないか。特に暫定形態の車道混在型であれば、危ないのは追突であり、追突は致死率も高くなるので避けなければならない。先ほど説明があったような路肩に車両を止めるような状況では、停車している車を回避するために車道に入った際の事故が発生しないようにするなど、ルートが設定されたら、自動車と自転車の共存ということに対して、ドライバーへ働きかけをしていく必要があると考える。</p> <p>まず、二つ目のドライバーへの注意喚起の件について、自転車ネットワーク計画により具体的に案内看板や路面標示を設置していく場面では、当然ご意見のような課題が出てくると思います。</p> <p>例えば、ドライバーが所属する協会とか、一般的な交通安全教室など様々な機会を捉えて、自転車への配慮について、ドライバーへ情報発信していく仕組みづくりが重要だと考えている。具体的には次年度以降に検討していきたい。</p> <p>次に、一つ目の自転車通行空間の整備方針について、暫定形態の車道混在型と同じ形態で進めていくことが現在の考えである。</p> <p>長期的には自転車道や自転車専用通行帯の設置もあるのかなと思うが、今後の自動車交通量の変化であるとか、自転車交通量が今後増えていくとか、雪国であるため冬期の除雪とかの問題もあるので、まずは、暫定形態の車道混在型でネットワークを構築していくことが優先と考えている。</p>
事務局	<p>まず、二つ目のドライバーへの注意喚起の件について、自転車ネットワーク計画により具体的に案内看板や路面標示を設置していく場面では、当然ご意見のような課題が出てくると思います。</p> <p>例えば、ドライバーが所属する協会とか、一般的な交通安全教室など様々な機会を捉えて、自転車への配慮について、ドライバーへ情報発信していく仕組みづくりが重要だと考えている。具体的には次年度以降に検討していきたい。</p> <p>次に、一つ目の自転車通行空間の整備方針について、暫定形態の車道混在型と同じ形態で進めていくことが現在の考えである。</p> <p>長期的には自転車道や自転車専用通行帯の設置もあるのかなと思うが、今後の自動車交通量の変化であるとか、自転車交通量が今後増えていくとか、雪国であるため冬期の除雪とかの問題もあるので、まずは、暫定形態の車道混在型でネットワークを構築していくことが優先と考えている。</p>
事務局	<p>中長期的な自動車交通量の変化等を踏まえて検討するといった内容はどこかに記載されているか。</p> <p>あくまでも暫定だと思いますので、中長期的な部分の書き方は検討してほしいと思う。</p>
事務局説明	<p>Ⅲ 今後の予定について【資料4】</p>
津藤委員	<p>サイクリング環境の向上と情報発信の部分において、今後、受入体制や情報発信の仕方などについて、県内4ブロックで、観光関係者や施設の事業者などを集めての説明会などが検討されているか。</p>
事務局	<p>計画策定後の周知については、現時点では正式に県内4ブロックで説明会を開催することは計画していないが、県の観光ポータルサイトである「やまがたへの旅」の全面刷新の作業をおこなっている。来月の12月には、新たに立ち上がることで準備を進めており、本格的には来年度の令和3年度からの運用となるが、新しいポータルサイトにおいてもサイ</p>

	<p>クルツーリズムに資する自転車関係の情報を市町村や山形県観光物産協会と連携しながら更新していく予定である。</p> <p>この運用の仕方という部分では、市町村と意見交換する予定であり、このようなことを通じて周知だったり、協力依頼をしていきたい。</p>
神田委員	<p>機運醸成のための場づくりがあったほうが良いのではないかという意見だと思えます。そのようなことが出来るのか、ぜひ検討してほしい。</p>
山科委員	<p>情報発信のポータルサイトのところで、今後の展開として、日本語のほか、英語、繁体字、韓国語など四か国語ぐらいで発信する予定はないのか。</p> <p>資料の中での例示として、四国の事例が入っているが、本格的なサイクリスト向けのようなイメージとなっているので、もっと一般的な観光客が参考にしやすいような、例えばガイド付きのツアーとか、イベントとつなげるとか、どういったところでレンタサイクルが借りられるとかなど観光客にやさしい情報を今後はプラスしていく考えなのか。</p>
事務局	<p>資料に載せたのが四国のもので、サイクリスト専用のサイトになっている。現在、更新作業を進めている新しいポータルサイトは、サイクルツーリズムに特化したものを予定していない。情報発信の中では、どの程度情報を収集できるかという点はあるが、レンタサイクルであったり、エイドステーション、道の駅の情報など、サイクリストや自転車を使うような観光客向けにやさしいサイトとなるよう情報発信に努めていきたい。また、ポータルサイトは、多言語で対応する予定としている。</p> <p>(まとめ)</p> <p>今回の検討会では、第2回目の検討会でのご意見等を踏まえまして、「山形県自転車ネットワーク計画」の原案が示されたところです。委員の皆様からはそれぞれの専門分野の知見から、本日も様々なご意見を頂戴しました。</p> <p>事務局においては、本日のご意見等も踏まえ、改めてご検討いただき、先ほど説明あったスケジュールで、「山形県自転車ネットワーク計画」をまとめていただくようお願いします。</p> <p style="text-align: right;">(終了 15時10分)</p>